

ヘリポートの設計支援

テーマ ヘリポート、離着陸場

キーワード 公共用、非公共用、場外、緊急、適地選定、設計、申請手続き、空飛ぶクルマ

離着陸場施設概要

ヘリコプターは、航空法の規定により、飛行場以外の場所で離着陸することは禁止されていますが、国土交通大臣の許可を受けた場合に限り、飛行場以外の場所でも離着陸することが可能となります。

ヘリコプターの離着陸には、用途・目的に応じたヘリポート区分の選定、区分に応じた施設整備および設置許可申請手続きが必要となります。

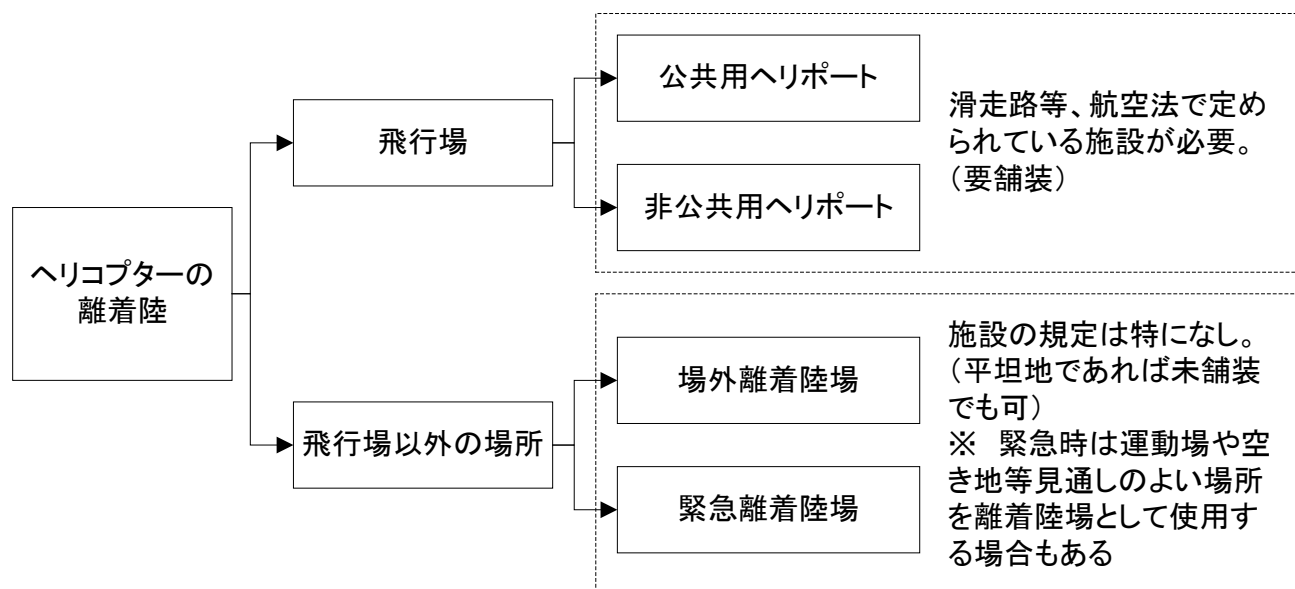
国において実用化に向けた検討がなされている空飛ぶクルマも、ヘリコプター的一种であり、離着陸を行う施設が必要となります。

ヘリポートの役割

ヘリポートは、以下に示すとおり多様な役割を果たす施設であり、目的に応じ様々な箇所に設置・利用されています。

飛行場は、誰もが利用できる公共用ヘリポートと、利用者が特定される非公共用ヘリポートに区分され、滑走路や着陸帯等航空法で定められている施設が必要となります。

飛行場以外の場所は、都度申請により多目的に使用可能な場外離着陸場と、緊急時のみの使用に限定される緊急離着陸場に区分され、施設面の規定は特になく、平坦地であれば未舗装でも構いません。



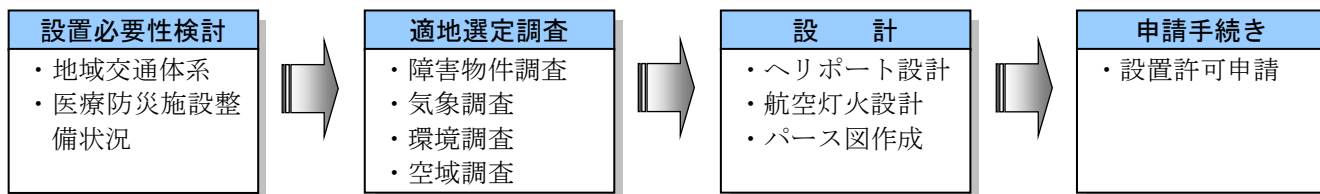
日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のホームページからお問い合わせください。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

実施フロー



技術ポイント

- ・ヘリポートの必要性検討に始まり、設置に必要な各種調査・設計、さらには利用に必要な申請手続きに至るまで、一貫したサポートを提供します。
- ・用途・目的に応じたヘリポート区分を選定・提案します。
- ・風向き、障害物、および施設利便性を考慮した適地選定を実施します。
- ・ヘリポート区分に応じた必要な施設の選定・設計を実施します。
- ・国土交通省に対する設置許可申請手続きのサポートを実施します。
- ・空飛ぶクルマもヘリコプター的一种であり、ヘリポート業務で養った経験・実績を基に、空飛ぶクルマが離着陸を行う施設の計画、設計、必要な申請手続きに関するサポート提供を計画しています。

【役 割】

急患発生時の搬送（ドクターヘリ）

災害発生時の負傷者搬送、物資輸送

施設・危険箇所の日常点検

警察・消防活動の拠点

地域航空ネットワークの形成

【設置箇所例】

医療機関施設

国際会議場、総合運動施設周辺

高速道路

ダム等山岳地域施設

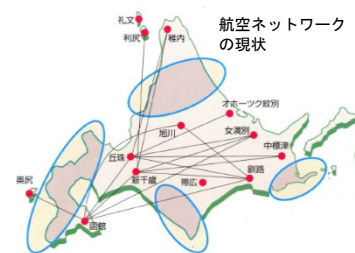
高速交通網空白地域



ドクターヘリ内部



場外離着陸場（ダム区域内）



高速交通網空白地域

関連実績

- 公共用ヘリポート計画・調査・設計（東京、ニセコ、増毛、足寄等）
- 警察消防活動拠点ヘリポート計画・調査・設計（警察、消防）
- 自動車道インターチェンジ周辺へのヘリポート整備検討調査（NEXCO）
- ダム区域内ヘリポート計画・調査・設計（国土交通省）
- ドクターヘリポート（各自治体・病院）